

すこやか
Gukoyaka



News「院長就任挨拶」

TSURUMI, Special edition

「胆嚢と胆石・胆嚢発癌について」

介護老人保健施設シエモア鶴見「節分会開催」

健康管理センター「脳梗塞、心筋梗塞はある日突然発症します」

健康のワンポイント「風しんについて」



高台から望む別府市

2023.April
Vol.595

広報誌「厚生連だより」

院長就任挨拶

院長(兼)健康管理センター長 か が あきひこ
加賀 明彦



この度、鈴木正義先生の後任として大分県厚生連鶴見病院院長、健康管理センターセンター長を拝命いたしました。歴史ある大分県厚生連の管理者として地域医療に携わらせていただくことを光栄に思うとともに、その責任の重さに身の引き締まる思いです。

鶴見病院は、救急医療、癌、生活習慣病を中心とした急性期の医療を中心に行ってまいりました。今後も引き続き急性期医療を担い、地域の皆さんに良質な医療サービスを提供したいと考えています。これに加えてこの3年間は、新興感染症という新たな問題に対応を迫られてきました。当院は第二種感染症指定医療機関として、新型コロナウイルスの感染拡大当初から総力をあげてこの対応にあたり、これまでに約500人の入院患者さんを受け入れてきました。本ウイルスの感染者数は減少傾向にあり、本年5月には5類感染症に位置づけが変更される予定ではありますが、感染力の強いウイルスであることには変わりませんので、引き続き地域での感染症診療の中心的役割を担うことが当院に与えられた使命であると考えています。一方、新型コロナウイルス流行期には全国で医療資源が不足したことにより、新興感染症は一種の災害であるとも言われています。それに加えて近年は水害や地震などの自然災害も各地で多発し、感染症と自然災害の両者に対応を迫られた地域もありました。当院はそれらに備え、感染症を含めた災害に強い病院として備えを進めたいと考えています。

また、県内各地から多くの皆様にご利用いただいております健康管理センターは、新型コロナウイルス感染拡大により、現在一部の検査項目を休止していますが、今後の状況にあわせて再開したいと考えています。またコロナ後を見据え、受診された皆様の健康長寿に貢献できるよう、新たなサービスを検討しています。

2011年に鶴見病院の新館が完成し、新しい環境になってから今年で12年になります。設備においても診療体制においても、いいところはそれを継続し、整備や見直しが必要なところは随時改善し、患者さんにより良い医療環境を提供できるよう努力してまいります。また地域の医療機関の皆様にもお役に立てるよう、職員一丸となって地域社会への貢献を目指してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



胆嚢と胆石・胆嚢発癌について

主任外科部長 柴田 浩平

1 胆嚢の働き

胆嚢(図1)は肝臓が作る胆汁を貯める袋の役割をしています。食物に脂質が含まれていると胆嚢に貯まっていた胆汁が排出されます。胆汁は小腸内で脂質の乳化を助けて、脂質の吸収を促進します。例えば鹿や馬、ラクダ、象などには、胆嚢がありません。一方で人間や犬・猫(家畜)のように、脂質を多く含有する食物を一度に食べる動物には、脂質の消化吸収には大量の胆汁酸が必要となり、胆嚢がより重要となります。

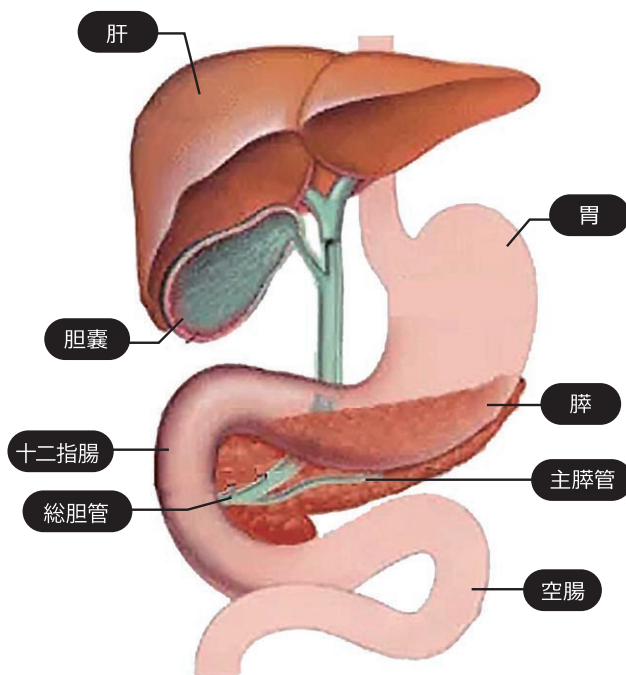


図1 胆嚢と周囲の解剖

2 胆石形成の成因

胆嚢内で胆汁中の約70%の水分が吸収され、胆汁は濃縮されます。胆汁は赤血球の老廃物であるビリルビン、コレステロール、脂肪酸、様々なミネラルで構成されており、それらのどれかが過剰になると、コレステロールの過飽和がおり、結晶が生じます。胆汁中のコレステロール過飽和は、肝臓からのコレステロール過剰分泌によって引き起こされ、高エネルギー・高コレステロール食の過剰摂取が主原因です。このような中、胆嚢粘膜から産生されるムチンが核となり、胆嚢の運動機能(収縮力)低下も関与して、胆嚢に胆石が形成されます。



3

胆石の危険因子

25%が遺伝します。女性・エストロゲン・妊娠中の女性(胆嚢運動機能が低下)・肥満・高脂肪食などが危険因子です。図2にコレステロール結石を示します。黒色石(図3)(10%)は赤血球破壊の増加によるビリルビンの腸肝循環の増加→胆汁中ビリルビンカルシウム析出で生じます。赤血球が壊れる病気(溶血性貧血など)や、抱合型ビリルビン産生量低下状態にある肝硬変などで高頻度にみられます。手術などで下部小腸や大腸がなくなると、胆汁酸が吸収されなくなり、胆石が形成されます。



図2 胆嚢とコレステロール結石

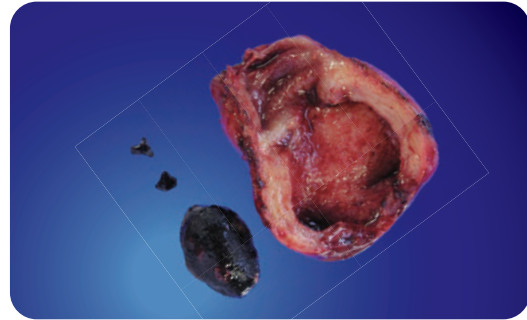


図3 胆嚢と黒色石

4

胆石症の症状・診断と治療

胆石が胆嚢の出口(胆嚢管)を塞ぐと痛みを生じます(胆道疝痛)。小結石や胆砂などで胆嚢管が閉塞すると、持続的な痛みになり、急性胆嚢炎となります。胆石症(症状がある胆石を含有)の患者の8-16%に総胆管結石(大半は胆嚢からの落石)を合併し、十二指腸乳頭(出口)に結石が詰まると、急性膵炎を発症することもあります。腹部エコーが胆石の検出率が最も高い検査ですが、おなかの中の様子がよりわかるのはCT検査となります。

胆石が胆嚢にあるだけで症状がない場合(無症候性胆石)は、発見後5年以内に症状が出現する頻度は5%といわれており、原則的に手術を受ける必要はありません。症状がある場合を胆石症といい、手術で胆嚢を摘出する適応となります。以前は胆汁酸(ウルソデオキシコール酸等)の内服や、体外衝撃波結石破砕術(ESWL)が試みられましたが、再発率が高く、ほとんど行われなくなりました。

5

腹腔鏡下胆嚢摘出術について

日本内視鏡外科学会のアンケート調査によると、日本で年間3万人を超える方が、胆嚢摘出術(図4:術中の様子:胆嚢挙上時)を受けています。図5は当院におけるここ10年間の胆嚢摘出術の症例数を表しています。年間100人程度の患者さんの胆嚢を摘出しており、過去10年間の胆嚢摘出における腹腔鏡下での施行率は98%で、致死性合併症はなく、大半は術後3日前後で退院しています。腹腔鏡下胆嚢摘出術の安全性はほぼ確立しています。胆嚢摘出後症候群(後遺症)として下痢がありますが、5%程度の頻度で、ほとんどが2ヶ月以内に投薬で解決し、日常に支障はありません。

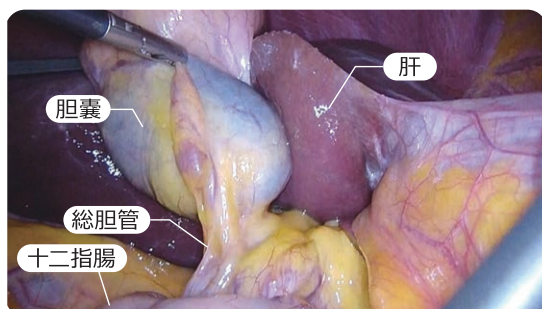


図4 腹腔鏡下胆嚢摘出術

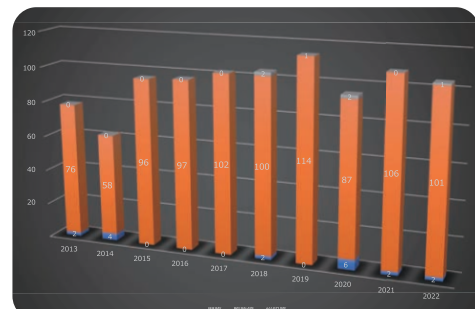


図5 鶴見病院における胆嚢摘出件数

6 胆嚢癌の危険因子と胆嚢摘出を考慮すべき疾患

胆嚢癌の危険因子としてコンセンサスが得られているのは、膵・胆管合流異常症という先天異常で(女性に圧倒的に多い)、予防的な胆嚢摘出が推奨されています。合流異常症では膵管と胆管が十二指腸壁より近位側(肝側・膵側)で合流するため、胆道内で膵液と胆汁が混和され、胆道内で消化力が数百倍にも活性化されます。十二指腸や小腸は生理的に消化液に強くできていますが、胆道内はそうではありません。胆嚢内ではその濃縮力が故に消化液が高濃度になり、胆嚢粘膜で持続的に炎症が惹起されるため、発癌に至ると考えられています。

胆石症や胆嚢腺筋症、胆嚢ポリープなども発癌リスクに挙げられていますが、まだよくわかっていません。当院の胆嚢摘出術患者640例の病理像を検討しますと、約7年間に6.3%(40例/640例)胆管内上皮腫瘍(BiIIN)が検出されており(図6)、胆石を保有している患者が93%(図7①)1cm以上の胆石を保有している患者が、癌に変化していくにつれて(BiIIN-1:軽度異型:62%、BiIIN-2:中等度異型:78%、BiIIN-3:上皮内癌:100%)多くなる傾向がありました(図7②)。胆嚢癌患者27例を検討しますと、胆石を合併している患者は48%と半数弱で、胆石症以外の原因でも胆嚢癌が発症していることが伺えます(図8①)。ただし胆嚢癌患者のうち胆石を合併していた13人では、1cm異常の結石を保有していた患者は77%と多数を占めていました(図8②)。こうした結果から、現在当院では①症状はないが1cm以上の胆石を保有している、②胆嚢腺筋症(癌か否か判別困難)、③胆嚢ポリープ(1cm以上は癌併存頻度が上がる)患者には、安全で体の負担が少ない腹腔鏡下胆嚢摘出をお勧めしています。

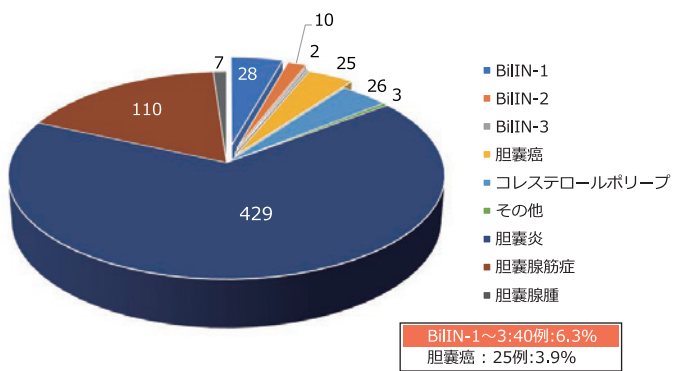


図6: 当科の胆嚢疾患の病理像
2012.10-2019.7(640例)

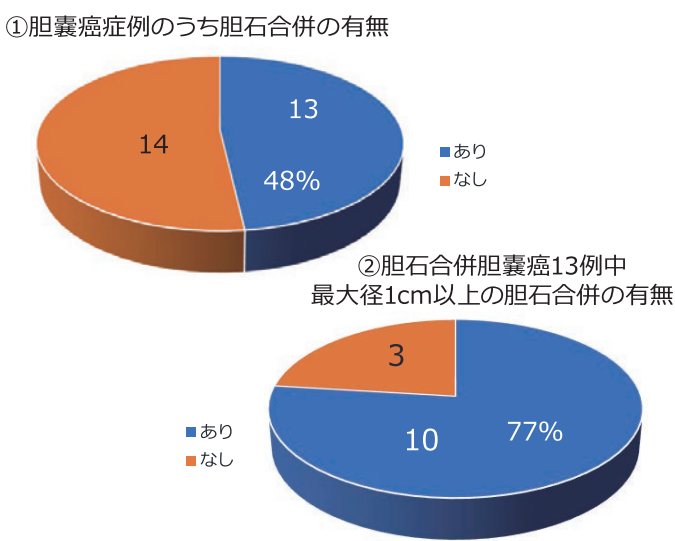


図8: 胆嚢癌症例(上皮内癌を含む): 27例
胆石合併と最大径1cm以上の結石の有無
男性: 17例 女性: 10例

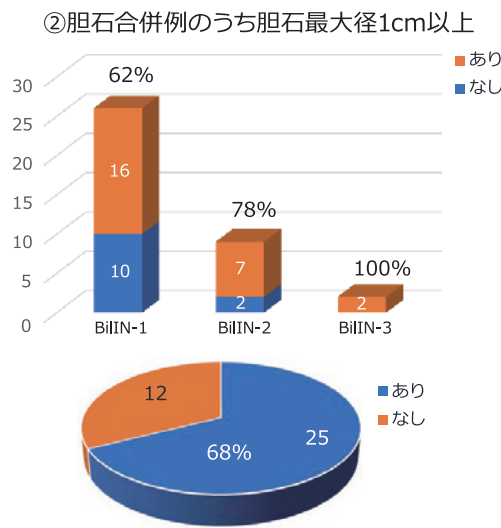
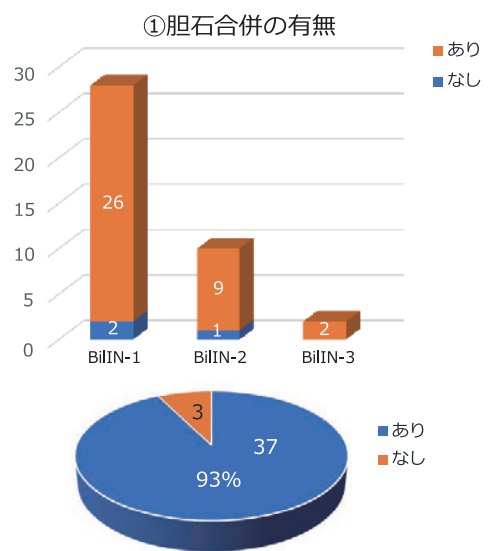


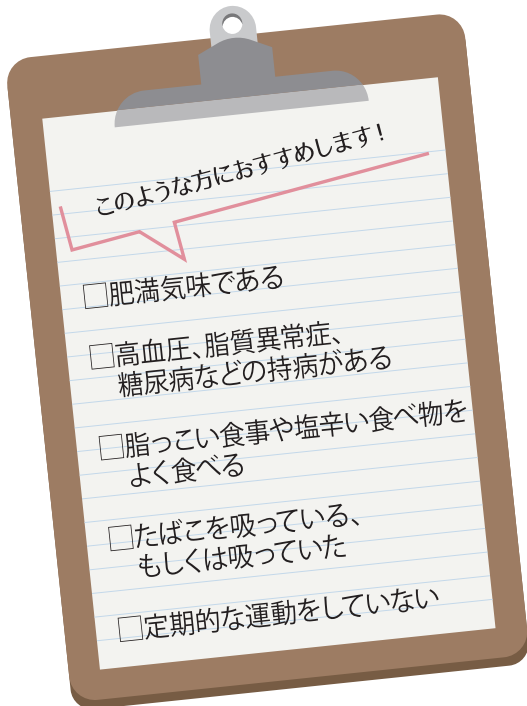
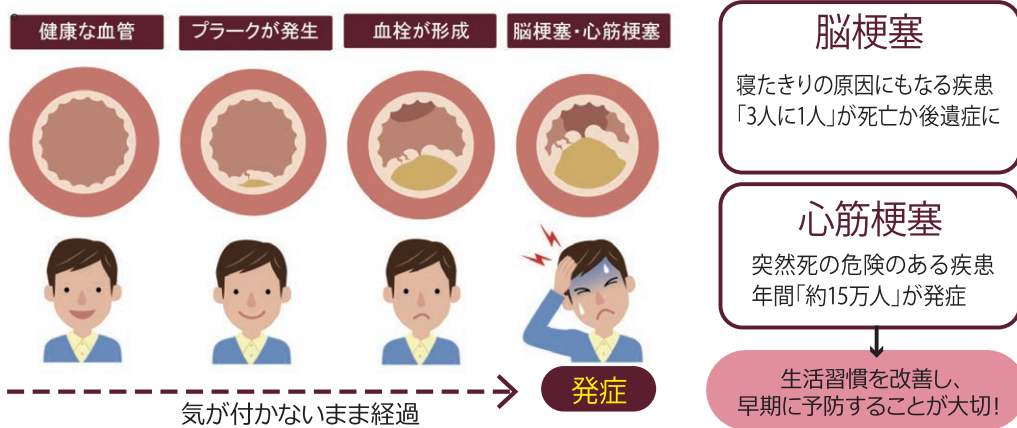
図7: BiIIN-1~3症例
胆石の有無、1cm以上の胆石の有無



脳血管疾患・心疾患の年間死亡者数はがんと同水準。
「4人に1人」が動脈硬化を一因とする疾患で亡くなっています。
LOX-index®は動脈硬化の進行から将来の脳梗塞・心筋梗塞の発症までを予測できる新しい血液検査です。

本当は怖い動脈硬化

動脈硬化は自覚症状がないまま進行し、ある日突然脳梗塞や心筋梗塞を発症します。



Q&A

よくある質問

Q.検査に食事制限などはありますか?

制限はありません。食前や食後に影響なく受診頂けます。

Q.実際に脳梗塞になっているか分かりますか?

いいえ。実際に脳梗塞になっているかどうかを見ているのではなく、将来的に脳梗塞や心筋梗塞になりやすい状態にあるかどうかを調べるための検査です。

Q.検査は一度だけ受ければよいの?

採血した時点の体質を見るものとなりますので、年に一度程度、健診や人間ドックに併せてのご受診をお勧めします。

Q.検査結果が悪かった場合は?

検査レポートのアドバイスに従って生活習慣などの見直しを行うことをお勧め致します。必要に応じて血管の硬さやつまり具合を調べる検査の受診もお勧めします。

LOX-index® [ロックスインデックス]でどうして将来リスクが分かるの?

検査では血液中の酸化した超悪玉コレステロール[酸化変性 LDL]と、それを血管の壁に取り込んで動脈硬化を進ませる[LOX-1]というタンパク質を測定します。動脈硬化の進行から将来の脳梗塞や心筋梗塞の発症危険度(リスク)を評価します。

検査費用: 13,200円(税込)

予約・お問合せ

大分県厚生連健康管理センター TEL:0977-75-6154

予約受付可能時間
月～金8:30～17:00 ※祝日は除く





三寒四温の言葉どおり、寒さと温かさが入り混じる季節となりました。

2月の伝統行事として馴染み深い「節分」ですが、昔から神様が訪れる季節の節目には、鬼などの悪さをするものと一緒にやってきてしまうと考えられていました。そのため、神様だけを迎え入れ、悪しきものや邪悪なものを追い出すために行われたのが「豆まき」です。



シエモアでも、利用者様が職員扮する鬼に対し「鬼は外、福は内」の掛け声とともに、豆のかわりにお手玉を投げました。みなさん1年間健康に過ごせますように…。



